

## 第2章 教 育 行 政

### 第1節 平成26年度福島県教育委員会 重点施策

- ☆ 県教育委員会では、平成22年3月に策定した「“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」を基本理念とする「第6次福島県総合教育計画」に基づき、3つの基本目標を定めて各施策を展開し、目標の達成を目指して教育行政を推進している。
- ☆ この計画の適切な運用に努めるため、3つの基本目標ごとに毎年度、重視する観点を以下のように定め、これに基づき実施する事業を明らかにしている。
- ☆ 生涯学習、文化及びスポーツに関する事業については知事部局の企画調整部文化スポーツ局において所管しているが、県教育委員会も連携を図りながら推進していく。(知事部局所管の事業に★を付す。)

#### 「平成26年度に重視する観点」に対応した主な事業

基本目標1「知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成」において重視する観点  
○ふくしまの復興・再生に向けた、生き抜く力をはぐくむ教育の推進

子どもたちの「確かな学力」、「豊かなこころ」と「健やかな体」をバランスよくはぐくみ、ふくしまの復興・再生に向けた、生き抜く力をはぐくむ教育を推進します。特に、震災の教訓を踏まえた道徳教育や教育相談体制の充実、医学や新たな産業の基盤となる理数教育、児童生徒の発達段階に応じた放射線教育や防災教育の推進、国際化の進展に対応できる国際人の育成などを通して生き抜く力をはぐくむとともに、学校、家庭、地域の連携による学力や体力の維持・向上、読書活動の推進、小・中学校等における特別支援教育の推進、就職の支援などに取り組みます。

- 継 続 ピュアハートサポートプロジェクト  
(学校の教育活動(全体)を通じた道徳教育の充実、道徳教育総合支援事業、人権教育開発事業、スクールカウンセラー等活用事業、スクールカウンセラー活用事業、学校教育相談員配置事業、緊急時カウンセラー派遣事業、緊急時スクールカウンセラー派遣事業(災害分)、緊急時カウンセラー派遣事業(災害分)、スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業、子ども24時間いじめ電話相談事業、いじめ対策等生徒指導総合推進事業、不登校対策推進事業、生徒指導アドバイザー派遣事業)
- 新 規 子どもの夢をはぐくむ読書活動推進事業
- 継 続 児童生徒の体力向上推進事業
- 新 規 平成29年度南東北インターハイ開催事業
- 新 規 ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食

- 環境整備事業
- 継 続 学校給食地場産物活用事業
- 継 続 学力向上推進支援事業(小・中学校)
- 新 規 ふくしまから はじめよう。学力向上のための「つなぐ教育」推進事業
- 継 続 サポートティーチャー派遣事業
- 新 規 ふくしま高校生進路実現サポート事業
- 継 続 ふくしまから はじめよう。未来を拓く理数教育充実事業
- 継 続 中山間地域インターネット活用学力向上支援事業
- 継 続 放射線教育推進支援事業
- 一 新 「生き抜く力」を育む防災教育推進事業
- 継 続 ふくしま地域医療の担い手育成事業
- 継 続 キャリア教育推進事業
- 継 続 インクルーシブ教育システム構築事業
- 継 続 社会自立を目指すスキルアップ事業
- 継 続 小学生外国語活動・異文化体験活動充実事業
- 継 続 ふくしまの未来を担う高校生海外研修支援事業
- 一 新 英語指導力向上事業
- 継 続 双葉地区教育構想(国際人材育成プラン)
- 継 続 緊急スクールカウンセラー等派遣事業(私立学校)★
- 新 規 私立幼稚園心と体いきいき事業★
- 継 続 医科大学施設・設備整備事業★
- 継 続 医科大学修学支援宿泊施設整備事業★
- 継 続 少人数教育推進事業
- 継 続 学校すこやかプラン(夢をはぐくむいのち生きいきプロジェクト事業)
- 継 続 「ふくしま子ども夢宣言」推進事業
- 継 続 地域スポーツ人材の活用実践支援事業
- 継 続 学校における食育推進プロジェクト
- 継 続 双葉地区教育構想(福祉健康人材育成プラン)
- 継 続 高等学校学習支援推進事業
- 継 続 特別支援学校における医療的ケア実施事業
- 継 続 特別支援学校における外部専門家活用事業
- 継 続 うつくしま教育ネットワーク事業

基本目標2「学校、家庭、地域が一体となった教育の実現」において重視する観点

#### ○家族や地域の絆を生かした、総合的な教育力の向上

家族や地域の絆を生かしながら、地域コミュニティの再生を図りつつ、学校・家庭・地域の連携・協力により、総合的に教育力の向上を図ります。このため、地域全体で学校教育や家庭教育を支援する体制の充実や、公民館などを活用した地域による課題解決の取組の支援とともに、被災した文化財の修復や伝統文化、自然体験活動や交流活動等に係る支援、県内外の文化施設相互の連携をさらに推進します。

- 継 続 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事

- 業
- 新規 学校・家庭・地域連携サポート事業
- 新規 子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト
- 新規 地域でつながる家庭教育応援事業
- 継続 東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業
- 継続 社会教育施設災害復旧事業
- 継続 地域における防災力向上支援事業
- 継続 文化による心の復興支援プロジェクト
- 一新 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業
- 継続 ふくしまから はじめよう。再生可能エネルギー教育実践事業
- 継続 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）
- 継続 地域に根ざした文化財の災害復旧支援事業
- 継続 地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業
- 継続 生涯学習による復興応援事業★
- 継続 東日本大震災記録保存活用事業★
- 一新 子供達によるふるさと「ふくしま」の学び事業★
- 継続 ふくしまから はじめよう。「地域のたから」伝統芸能継承事業
- 新規 アートによる新生ふくしま推進事業★
- 継続 十七字のふれあい事業

- 継続 県立特別支援学校全体整備計画の推進
- 継続 サテライト校の整備・充実（宿泊施設・運営管理・支援事業）
- 継続 復旧・復興の基盤づくりのための教員配置
- 継続 文化で元気！”新生ふくしま”グランドステージ事業★
- 継続 ふくしまから はじめよう。スポーツ発信・全国大会誘致事業★
- 継続 「陸上王国福島」パワーアップ事業★
- 新規 ふくしまから世界へ！「ふくしま夢アスリート」育成支援事業★
- 継続 スポーツ環境復興緊急対策事業★
- 継続 福島県私学振興会貸付金★
- 新規 私立幼稚園心と体いきいき事業★
- 継続 私立学校被災児童生徒等就学支援
- 継続 優秀教職員表彰制度
- 継続 教職員メンタルヘルス事業

## 第2節 教育委員会

### 1 教育委員会

平成26年12月19日に開催された教育委員会定例会において、委員長に高橋金一委員が互選され、委員長職務代理には、蜂須賀禮子委員が指定された。

基本目標3「豊かな教育環境の形成」において重視する観点

#### ○復興・再生に向けた教育環境の一層の充実

本県の復興・再生を支える子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境の一層の充実を図ります。このため、被災した教育施設の復旧とともに、双葉郡の中高一貫校の設置に向けた準備を行います。また、児童生徒の受ける放射線量の低減や学校給食の検査体制への支援を行います。

被災した児童生徒に対応するため、奨学資金等による経済的な支援を行うとともに、適切な教員の配置や教員研修の充実に努めます。さらに、学校施設の耐震化・老朽化対策を促進するとともに防災管理体制を充実させます。また、共に学ぶ環境づくりのため、特別支援学校の整備を推進します。

- 継続 大規模改造事業
- 継続 県立学校校舎等改築事業
- 継続 県立学校施設等災害復旧事業
- 継続 県立学校施設応急仮設校舎等設置事業
- 継続 大学・高校等奨学資金貸付事業
- 継続 被災児童生徒等就学支援事業
- 継続 被災児童生徒等特別支援教育就学奨励事業
- 継続 高等学校通学費支援事業
- 継続 学校給食検査体制支援事業
- 継続 学校給食モニタリング事業
- 継続 公立学校等校舎内緊急環境改善事業
- 新規 双葉郡中高一貫校設置事業
- 継続 双葉地区教育構想推進事業

職名	氏名	就任年月日	職業	備考
委員長	高橋 金一	平成23年 12月27日	弁護士	郡山市
委員長職務代理者	蜂須賀禮子	平成24年 10月19日	生 花 販 売	大熊町
委 員	境野 米子	平成23年 4月1日 (2期目)	生 活 評 論 家	福島市
委 員	小野 栄重	平成25年 12月24日 (2期目)	会 社 代 表 取 締 役	いわき市
委 員	佐藤 有史	平成24年 10月19日	会 社 代 表 取 締 役	会津若松市
教育長	杉 昭重	平成24年 4月1日		福島市

## 2 審議事項

### 4月定例会(26.4.18)

- 審議事項
  - (1) 平成27年度福島県公立学校教員採用予定者数について
  - (2) 教職員の懲戒処分について
- 報告事項

- (1) 平成26年度福島県立高等学校入学者選抜の結果について
- (2) 平成26年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜の結果について
- (3) 訓告処分等について

**5月定例会(26.5.16)**

○ 審議事項

- (1) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
- (2) 福島県立会津学鳳中学校学則の一部を改正する規則について
- (3) 福島県立特別支援学校学則の一部を改正する規則について
- (4) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について
- (5) 福島県教育関係職員定数条例の一部を改正する条例案について
- (6) 福島県立博物館運営協議会委員の任免について
- (7) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 平成27年度使用教科用図書の採択等に関する答申について
- (2) 訓告処分等について
- (3) 応訴について

**6月定例会(26.6.13)**

○ 審議事項

- (1) 平成27年度使用教科用図書調査研究資料について
- (2) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
- (3) 教育長臨時代理による処理の承認について  
(平成25年度福島県一般会計補正予算(教育委員会関係部分)について)
- (4) 平成26年度6月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- (5) 工事請負契約の一部変更案について
- (6) 福島県社会教育委員の任命について
- (7) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

**7月定例会(26.7.16)**

○ 審議事項

- (1) 県立高等学校長の人事について
- (2) 福島県市町村公立学校教頭の人事について
- (3) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

○ 協議事項

- (1) 双葉郡中高一貫校の校名案について

**8月定例会(26.8.22)**

○ 審議事項

- (1) 平成27年度使用県立特別支援学校小学部・中学部・

高等部の教科用図書の採択について

- (2) 平成27年度使用県立高等学校の教科用図書の採択について
- (3) 福島県立高等学校条例の一部を改正する条例案について
- (4) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 教職員の分限処分について
- (2) 訓告処分等について

**9月定例会(26.9.10)**

○ 審議事項

- (1) 平成27年度福島県立中学校入学者選抜について
- (2) 平成27年度福島県立高等学校入学者選抜について
- (3) 平成27年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜について
- (4) 福島県指定重要文化財の指定について
- (5) 平成26年度9月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- (6) 工事請負契約の一部変更案について
- (7) 教職員の懲戒処分について
- (8) 平成26年度教育・文化関係表彰について
- (9) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
- (10) 平成27年度福島県公立学校実習助手採用予定者数及び平成27年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用予定者数について

○ 報告事項

- (1) 福島県文化財保護審議会の審議結果について
- (2) 訓告処分等について

**10月定例会(26.10.17)**

○ 審議事項

- (1) 平成27年度福島県立学校生徒募集定員について
- (2) 平成26年度教育・文化関係表彰について
- (3) 平成27年度人事異動方針及び各人事異動実施要項について
- (4) 平成27年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
- (5) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

**11月定例会(26.11.21)**

○ 審議事項

- (1) 平成26年度12月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- (2) 福島県教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例案について
- (3) 福島県市町村立学校職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案について
- (4) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について

- (5) 平成26年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文朝河貫一賞の受賞者について
- (6) 平成26年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野口英世賞の受賞者について
- (7) 教育長臨時代理による処理の承認について  
(市町村公立学校長の人事について)
- (8) 市町村公立学校長の人事について
- (9) 市町村公立学校教頭の人事について
- (10) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 平成26年度福島県市町村立学校教職員の勤務評定について
- (2) 平成26年度福島県立学校教職員の勤務評定について
- (3) 訓告処分等について

**12月定例会(26.12.19)**

○ 審議事項

- (1) 教育長臨時代理による処理の承認について  
(福島県教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について)
- (2) 教育長臨時代理による処理の承認について  
(平成26年度12月補正予算追加提案(教育委員会関係部分)について)
- (3) 福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則について
- (4) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について
- (5) 福島県立美術館運営協議会委員の任命について
- (6) 教職員の懲戒処分について
- (7) 福島県立特別支援学校学則の一部を改正する規則について
- (8) 平成26年度教育・文化関係表彰について
- (9) 教育職員免許法第5条第3項の規定による特別免許状の授与について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

○ 委員長選挙

○ 委員長職務代理者の指定

**1月定例会(27.1.21)**

○ 審議事項

- (1) 平成26年度教育・文化関係表彰について
- (2) 平成27年度福島県立学校生徒募集定員について
- (3) 平成27年度福島県立学校実習助手採用候補者選考試験の合格者について
- (4) 平成27年度福島県立学校寄宿舎指導員採用候補者選考試験の合格者について
- (5) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について
- (2) 応訴について
- (3) 平成27年度人事異動(教員系)について

**2月定例会(27.2.13)**

○ 審議事項

- (1) 工事請負契約の一部変更案について
- (2) 平成27年度当初予算案(教育委員会関係部分)について
- (3) 平成26年度2月補正予算案(教育委員会関係部分)について
- (4) 福島県教育委員会の委員の定数に関する条例の一部を改正する条例案について
- (5) 福島県教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例案について
- (6) 福島県教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例案について
- (7) 福島県教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例を廃止する条例案について
- (8) 福島県教育関係職員定数条例等の一部を改正する条例案について
- (9) 福島県市町村立学校職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案について
- (10) 福島県義務教育諸学校等の教育職員の給与等の特別措置に関する条例の一部を改正する条例案について
- (11) 教職員の懲戒処分について
- (12) 退職手当の支給について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

○ 協議事項

- (1) 福島県子ども読書活動推進計画(第三次)の策定について
- (2) 平成27年度人事異動(教員系)について

**2月臨時会(27.2.27)**

○ 審議事項

- (1) 平成25年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価結果について
- (2) 福島県子ども読書活動推進計画(第三次)について
- (3) 福島県教育委員会会議規則の一部を改正する規則について
- (4) 福島県教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則について
- (5) 福島県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則について
- (6) 福島県教育財産管理規則の一部を改正する規則について
- (7) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
- (8) 市町村公立学校長の人事について
- (9) 教育庁職員(教員系)の人事について
- (10) 平成27年度教育庁及び教育機関の主要職員(教員系)の人事について
- (11) 平成27年度市町村公立小・中・特別支援学校長の人事について
- (12) 平成27年度市町村公立小・中・特別支援学校教頭の

人事について

- (13) 平成27年度県立学校長の人事について
- (14) 平成27年度県立学校教頭の人事について
- (15) 指導不適切教諭等に対する措置について

○ 報告事項

- (1) 平成26年度福島県市町村立学校教職員の勤務評定について
- (2) 平成26年度福島県立学校教職員の勤務評定について  
**3月定例会(27.3.16)**

○ 審議事項

- (1) 第6次福島県総合教育計画における指標の変更について
- (2) 第6次福島県総合教育計画「平成27年度アクションプラン」について
- (3) 福島県教育委員会が取り扱う個人情報の保護に関する規則の一部を改正する規則について
- (4) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則等の一部を改正する規則について
- (5) 教科用図書選定審議会規則の一部を改正する規則について
- (6) 福島県指定重要無形民俗文化財の指定について
- (7) 福島県文化財保護審議会委員の任命について
- (8) 福島県立博物館運営協議会委員の任命について
- (9) 平成28年度使用教科用図書選定審議会委員の任命について
- (10) 福島県立博物館長の委嘱について
- (11) 県立特別支援学校整備指針について
- (12) 平成27年度教育庁及び教育機関の職員の人事について
- (13) 平成27年度市町村公立小・中・特別支援学校教職員の人事について
- (14) 平成27年度県立学校教職員の人事について
- (15) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 福島県文化財保護審議会の審議結果について
- (2) 平成28年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験実施に係る改善点について
- (3) 教職員等による不適切な行為に関する実態調査について
- (4) 訓告処分等について

### 第3節 教育庁組織

理事兼政策監 尾形 淳一  
 教育次長(業務) 菅野 誠  
 教育庁参事(人事・企画) 笠原 裕二

課室名	職名	課長等名
教育総務課	課長 庁主幹兼副課長	大類 由紀子 鶴見 宏幸

	庁企画主幹兼副課長	佐藤 秀美
財務課	課長 主幹兼副課長	山田 英一 菅野 信之
施設財産室	室長 主幹	中島 博 伊東 誠
職員課	課長 主幹兼副課長 主幹	齋藤 圭一 吉田 強栄 佐藤 等
福利課	課長 主幹兼副課長	須藤 幹子 鈴木 正彦
社会教育課	課長 主幹兼副課長 主幹	佐川 正人 秋山 和則 永瀬 功一
文化財課	課長 副課長兼主任主査 副課長兼専門文化財主査	津田 正美 金澤 昭 佐藤 耕三
義務教育課	課長 主幹兼副課長 主幹 主幹	飯村 新市 東間 孝文 有賀 仁一 菊池 篤志
高校教育課	課長 主幹兼副課長 主幹 主幹(～7月)	大沼 博文 斎藤 理恵 加藤 知道 瓜生 康弘
特別支援教育課	課長 主幹兼副課長	上妻 弘 小檜山 宗浩
健康教育課	課長 主幹兼副課長 主幹 副課長兼主任主査	笠井 淳一 眞壁 勝 佐藤 晃 鈴木 義祐

教育事務所

教育事務所	所長・次長名	課長名
県北	所長 芳賀 祐司 次長(総) 糸 圭次 次長(業) 伊藤 隆幸	総務社会教育(兼) 糸 圭次 学校教育 佐々木義通
県中	所長 梅田 善幸 次長(総) 鈴木 俊明 次長(業) 星 克一	総務社会教育(兼) 鈴木 俊明 学校教育 御代田進一
県南	所長 寺木 誠伸 次長(総) 佐藤 庸雄 次長(業) 佐久間芳雄	総務社会教育(兼) 佐藤 庸雄 学校教育 永山 美雄
会津	所長 丹藤 茂 次長(総) 小檜山滋人 次長(業) 神田 順一	総務社会教育(兼) 小檜山滋人 学校教育 菊地 裕二
南会津	所長 水野 達雄 次長(総) 万波 憲一 次長(業) 橘 成美	総務社会教育(兼) 万波 憲一 学校教育(兼) 橘 成美
相双	所長 塩田 正信 次長(総) 米沢 修志 次長(業) 木村 政文	総務社会教育(兼) 米沢 修志 学校教育 午來 勝頭
いわき	所長 折笠 文昭 次長(総) 佐藤 光洋 次長(業) 伊達多津也	総務社会教育(兼) 佐藤 光洋 学校教育(兼) 伊達多津也

所管教育機関等

教育機関名	所館長名	次長等名
福島県教育センター	青山 修身	次長(総務) 鈴木 芳夫 総務管理部長(兼) 鈴木 芳夫 研究・研修部長 鈴木 睦治
福島県養護教育センター	片寄 一	主幹兼事務長 吉田 昌弘 企画事業部長 齋藤 寿紳
福島県立図書館	玉井 章	副館長 高野 浩二
福島県立美術館	早川 博明	副館長 鶴澤 義孝
福島県立博物館	赤坂 憲雄	副館長 矢吹幸一郎
郡山自然の家	秦 公男	次長 山口 祥則
会津自然の家	菅原 克章	次長 佐藤 広威

## 第4節 企画調整

### 1 教職員現職教育計画の策定

#### (1) 福島県公立学校教職員現職教育計画

教職員現職教育担当者会議を開催し、平成27年度の教職員研修計画及び研究学校(地区)指定計画について策定に関する協議や関係課・所間の調整を行い、「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定した。

#### (2) 策定計画

回	開催期日	会議の場所	議事及び協議の概要
第1回	26.6.3	西庁舎講堂	○平成27年度教職員現職教育計画作成日程について ○平成27年度教職員現職教育計画策定に向けた全体及び各課・所の検討事項について ○平成27年度教職員現職教育計画作成方針を踏まえ、関係課・所において、予算化等を見通した研修の改善及び新設、変更、廃止の案の検討について
第2回	26.8.29	自治会館 301会議室	○第1回会議の確認事項について ○各課・所における予算化等を見通した具体的計画案について ○平成27年度教職員現職教育計画修正案作成の関係課・所への依頼について

### (3) 構成員

#### 教育総務課

企画主幹兼副課長、主任主査

#### 社会教育課

主幹、主任社会教育主事、社会教育主事兼指導主事

#### 義務教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

#### 健康教育課

主幹、主任指導主事、主任栄養技師、指導主事

#### 特別支援教育課

主幹兼副課長、主任指導主事、管理主事、指導主事

#### 高校教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

#### 教育センター

研究・研修部長、主任指導主事、指導主事

#### 養護教育センター

企画事業部長、主任指導主事

## 2 調整事務

### (1) 教育庁内企画・調整事務

- ア 総合教育計画に関する連絡調整
- イ 県教委重点施策に関する連絡調整
- ウ 県教委点検・評価に関する連絡調整
- エ 県重点事業に関する連絡調整
- オ 県重点施策評価に関する連絡調整
- カ 政府予算対策に関する連絡調整
- キ 双葉地区教育構想推進事業に関する連絡調整

### (2) 知事部局との調整事務

- ア 知事直轄  
安全で安心な県づくり推進庁内連絡会議
- イ 総務部  
行財政改革推進本部
- ウ 企画調整部  
県総合計画・復興計画関係、施策評価関係、県重点事業関係、政府予算対策活動関係、過疎・中山間地域経営戦略本部会議、エネルギー政策検討会、電子社会推進本部会議、政策調整会議、避難地域復興推進会議、新生ふくしま復興推進本部会議、地産地消推進会議、地域創生・人口減少対策本部会議、原子力損害対策協議会、復興対策推進プロジェクトチーム、湯水対策連絡会議、東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部会議
- エ 生活環境部  
ユニバーサルデザイン推進本部会議、青少年健全育成推進本部、環境影響評価庁内連絡会議、循環型社会形成庁内推進会議、景観形成推進庁内連絡会、特定外来生物対応庁内連絡会、男女共同参画推進本部会議、環境・エネルギー施策推進庁内連絡会議、ふくしま地球温暖化対策推進本部会議、除染・廃棄物対策推進会議

- オ 保健福祉部  
子育て支援推進本部会議、高齢社会対策推進本部会議
- カ 商工労働部  
緊急経済・雇用対策本部会議、企業誘致・立地企業振興対策本部会議、商業まちづくり推進調整会議
- キ 農林水産部  
ふくしま県産木材利用推進会議、ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動
- ク 土木部  
県有建築物保全推進連絡会議、都市計画行政連絡会議
- ケ 警察本部  
福島県被害者等支援連絡協議会

## 第5節 広報・広聴

### 1 教育委員会だより

- (1) 編集方針  
教育庁の新陣容や教育行政の諸領域の中から広報を要する事項及び教職員に周知させる必要のあるものを掲載し、教育委員会施策の徹底を図る。
- (2) 内容  
県教育委員会重点施策、県教育委員会所管予算、県教育庁組織改編の概要、県教育委員名簿・県教育庁新陣容、県教育庁の組織及び電話番号一覧
- (3) 規格・部数  
ア 規格 A4判 4ページ  
イ 部数 4,000部
- (4) 配布対象  
市町村教育委員会、県内公立学校、私立団体連合会、各教育関係機関、北海道・東北各県教育委員会等
- (5) 発行時期  
4月に発行

### 2 教育年報

- (1) 編集方針  
平成25年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。
- (2) 内容  
平成25年度の本県教育行政の実績
- (3) 規格・部数  
ア 規格 A4判 306ページ  
イ 部数 150部
- (4) 配布対象  
市町村教育委員会、各教育関係機関

### 3 福島県の教育

- (1) 編集方針  
本県教育の実績と教育行政の要点を図式化して掲載し、

教育庁への来訪者等に配布し、本県教育に対する理解を図る。

- (2) 内容  
本県教育の実情及び教育行政の要点
- (3) 規格・部数  
ア 規格 A4判 8ページ カラー  
イ 部数 1,000部
- (4) 配布対象  
教育機関への来訪者、市町村教育委員会、県内公立学校、各教育関係機関、各都道府県教育委員会等

## 4 ふくしま教育ニュース

- (1) 編集方針  
県教育委員会の教育行政施策、実績等を県民、特に保護者を対象として伝えることにより、本県教育に対する理解を図る。6月・10月の年2回発行した。
- (2) 内容  
ア 第42号（6月発行）  
双葉郡中高一貫校設置事業  
新校舎完成報告  
ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業  
「確かな学力」をはぐくみます  
学校、家庭、地域～「3つの絆」を生かします  
「健やかな体」をはぐくみます  
「野口英世賞」募集、「朝河貫一賞」募集  
「地域の知の拠点」～美術館・博物館利用案内  
夏休みの主なコンテスト等  
奨学生・各種相談窓口の案内  
イ 第43号（10月発行）  
校名決定 中高一貫校「ふたば未来学園高校」  
楽しかったよ！小学生算数、理科講座  
中学生・高校生の活躍報告  
食育の推進  
「地域でつながる家庭教育応援事業」  
「ふくしま教育の日」  
県教育委員会の事業紹介  
転入学・入学者選抜に関する情報  
ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業  
相談窓口の案内
- (3) 規格・部数  
ア 規格 A4判 4ページ カラー  
イ 部数 各号 263,000部
- (4) 配布対象  
県内公立学校の全保護者、県外に避難している児童生徒の保護者、私立幼稚園及び小・中・高等学校、市町村教育委員会、各教育関係機関等

## 5 教育庁各課・所・館の広報誌・紙

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配布対象
教育総務課	福島県の教育	本県教育の実情及び教育行政の要点を図式化して表示	1	A 4	8	1,000	教育機関への来訪者、教育関係機関等
	教育委員会だより	県教育長あいさつ、教育施策及び予算、県教育委員名簿、県教育庁新陣容、組織及び電話番号	1	A 4	4	4,000	県内公立学校、私学団体連合会、教育関係機関等
	教育年報	前年度の県教育行政の実績	1	A 4	319	150	市町村教委、教育関係機関等
	ふくしま教育ニュース	県教育委員会の教育行政施策、実績、事業のお知らせ等	2	A 4	4	各263,000	県内公立学校の全保護者・教職員、教育関係機関等
福利課	ふくしまり 福利だより	教職員の福利・厚生事業の紹介等	4	A 4	16 (6月、9月) 12 (12月、3月)	21,000	全教職員
社会教育課	社会教育	社会教育に関する情報、活動状況の取りまとめ	1	A 4	8	—	webに掲載
健康教育課	29南東北インターハイ NEWS	インターハイ関連広報	4	A 4	—	—	webに掲載
教育センター	要 覧	教育センターについての沿革、設置の趣旨、組織、予算、事業内容を掲載	1	A 4	20	200	学校、関係機関
	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や県内教員の教育研究等についての紹介及び教育センターからの案内	2	A 4	8	—	webに掲載
	研究紀要	研究の成果をとりまとめて刊行し、本県学校教育の向上に資する。	1	A 4	90	850	学校、関係機関
	長期研究員 個人研究報告書	長期研究員の個人研究の成果をとりまとめた報告書	1	A 4	156	140	関係機関
養護教育センター	リーフレット	事業内容・研修講座名等	1	A 5	4	100	来所者、webに掲載
	所報 特別支援教育	センターの取組や国内外の教育動向等	1	A 4	29	20	関係機関
	要 覧	沿革、事業体系、事業概要、施設・設備	1	A 4	15	20	関係機関
	研究紀要	調査研究・教育研究及び授業研究支援の成果報告	1	A 4	63	70	関係機関 webに掲載



課・所 ・館名	広報誌・紙名	内 容	発行 回数	判	ページ	発行部数	配 付 対 象
図 書 館	館報あづま	図書館業務の広報	1	A4	6	1,000	図書館・関係機関
	福島県立図書館要覧	県立図書館の概況	1	A4	20	—	webに掲載
美 術 館	美術館ニュース ART INFORMATION	企画展・普及事業等の案内	6	A4 三折		各11,000	関係機関、来館者等
	ミュージアム カレンダー	年間事業紹介	1	B5		35,000	〃
博 物 館	県立博物館年報	前年度の事業実績	1	A4	85	400	関係機関
	月行事予定表	月行事予定	12	A4	1	各1,400	〃
	博物館だより	行事予定、企画展案内、講演要旨等	4	A4	8	各3,500	学校、関係機関
	はくぶつかん ニュース	月毎の博物館行事予定及び博物館にかかわるニュース	12	A4	2	各12,600	〃
	企画展ポスター・ リーフレット	企画展2回分・特別展1回分紹介	3	ポスターB2 リーフレット A4		8,500 120,000	学校、関係機関 関係機関、来館者など
	年間催し物案内	主催行事などの紹介	1	200×394 四折		45,000	関係機関、来館者など
自 然 の 家	利 用 案 内 (いわき)	施設概要、利用方法等	1	A4	28	1,000	関係機関
	し お ね (いわき)	企画事業内容、実施期日、対象等	3	A4	8	10,000	関係機関
	リーフレット (いわき)	施設概要、全体図等	1	A3	1	2,000	関係機関
	企画事業案内 (郡山)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A4	1	—	webに掲載
	会津自然の家だより (会津)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A4	2	—	webに掲載
文セ白 化ン河 財夕館 	年 報	沿革、事業の概要、入館者統計、予算等	1	A4	28	500	関係機関
	まほろん通信	イベントの内容、体験学習の案内等	4	A4	4	各4,000	関係機関、利用者等
	研 究 紀 要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	A4	72	500	関係機関

## 6 教育長記者会見

(1) ふたば未来学園高等学校副校長人事について

ア 日時 平成27年2月17日(火) 9:25～

イ 場所 教育委員室

ア 日時 平成27年3月24日(火) 11:00～

イ 場所 教育委員室

(2) 平成27年度福島県公立学校教職員及び教育庁職員

人事異動について

## 7 記者発表及び資料提供(投げ込み)件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4
資料提供	29	13	15	33	24	22	47	21	31	27	26	31	319

## 8 教育フォーラム

### (1) 目的

県民各層との対話をとおして、多様化している県民の意向を積極的かつ多角的に把握し、県民と一体となった開かれた教育を推進するために実施。

平成23年8月、震災後の困難を乗り越えて本県の高校生は「全国高等学校総合文化祭（ふくしま総文）」を成功させた。とりわけ構成劇「ふくしまからのメッセージ」は被災地の高校生の声として大きな反響をよんだ。震災から3年を経た今、再びふるさとへの思いとふくしま再生にかける情熱を「いま再び ふくしまからのメッセージ」として発表することにより、本県の若者の決意と底力を県内外に発信する機会とするため実施した。

### (2) テーマ

「いま再び ふくしまからのメッセージ」

### (3) 内容

#### ア 開催形態

意見発表・意見交換・独唱及び合唱披露  
メッセージ発表

#### イ 会場

福島県立安積黎明高等学校

#### ウ 開催日時

平成26年11月1日（土）  
「ふくしま教育の日」13:30～16:20

#### エ 出席者

##### (ア) 意見発表者

石井 裕也（中学生）  
佐藤つぐみ（中学生）  
本田 直樹（高校生）  
森藤 遥（高校生）  
佐藤 季（大学生）  
若菜 円香（社会人）

##### (イ) 独唱及び合唱披露

小池さつき（大学生）  
安積黎明高等学校合唱団

##### (ウ) 福島県教育委員会

小野 栄重（県教育委員会委員長）  
高橋 金一（県教育委員会委員）  
境野 米子（県教育委員会委員）  
蜂須賀禮子（県教育委員会委員）  
佐藤 有史（県教育委員会委員）  
杉 昭重（県教育委員会教育長）  
尾形 淳一（理事兼政策監）  
菅野 誠（教育次長）  
笠原 裕二（教育庁参事）  
大類由紀子（教育総務課長）  
飯村 新市（義務教育課長）  
大沼 博文（高校教育課長）  
梅田 善幸（県中教育事務所長）

(エ) 参加者 約300名

## 9 平成26年度「ふくしま教育の日」啓発推進事業

県民の教育に対する理解、関心を高め、学校教育、社会教育及び文化の充実、発展を期するため、平成15年3月にふくしま教育の日条例を制定し、ふくしま教育の日(11月1日)及びふくしま教育週間(11月1日～7日)を設けている。当該期間を含むその前後の期間において「教育の日」の趣旨にふさわしい取組が実施されるよう、市町村や関係機関に働きかけた。さらに、今年度は「ふくしま教育の日」に教育フォーラムを実施し、普及啓発を図った。

## 10 県庁子ども参観デー

子どもたちに県庁を見学する機会を提供することにより、職業や社会への理解を深めてもらう機会とした。

また、この取組を広報することにより、県民に対して復興をアピールする機会とした。あわせて、一丸となって震災対策に取り組んでいる職員の姿や職場を見学することによって、復興に向けた県の取組を理解してもらうとともに、子どもたちを勇気づけ、生きる力を涵養することも目的とした。

(1) 日時 平成26年8月8日(金) 9:00～12:00

(2) 参観者 小学生とその保護者など計102人

(3) 内容 ア 県庁見学(知事室・議場・河川流域総合情報システム室・通信司令室・観光交流課・広報課)  
イ 教育庁見学  
ウ 教育委員との懇談

## 第6節 調査統計

平成26年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。

### 1 学校統計要覧

平成26年5月1日現在で調査した「学校基本調査」(指定統計13号)の調査結果により、学校数、児童生徒数、教職員等の基本的事項を収録した「学校統計要覧」の作成作業を実施した。(平成27年度に県教委HPにて公開)

### 2 地方教育費調査(一般統計)

この調査は、平成25会計年度において、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における県及び市町村(教育事務組合を含む。)から支出された経費並びに授業料等の収入の実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、教育諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的として文部科学省が実施したものである。

### 3 子どもの学習費調査(一般統計)

この調査は、子どもを公立又は私立の学校に通学させている保護者が、子どもの学校教育及び学校外活動のために支出した経費並びに世帯の年間収入の実態をとらえ、教育に関

する国の諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的として文部科学省が実施したものである。

#### 4 進路状況等に関する調査

この調査は、中学校・高等学校生徒の進路希望及び卒業後の状況を調査し、進路指導及び高等学校の適正配置計画並びに課程・学科等の整備計画の基礎資料を得ることを目的とした県単独調査である。

### 第7節 教職員の給与

平成26年度の教職員の給与改定については、平成26年10月16日の県人事委員会給与勧告に基づき、給料月額及び諸手当について、平成26年12月県議会及び平成27年2月県議会において、給与条例等の一部改正が提案され、議決・公布された。その概要は、次のとおりである。

#### 1 給料関係

##### (1) 給料月額

###### ア 公民較差に基づく給与改定（平成26年4月1日適用）

世代間の給与配分の見直しの観点から、若年層に重点を置いて給料月額が引き上げられた。

###### イ 給与制度の総合的見直し（平成27年4月1日適用）

人事院勧告に準じた世代間の給与配分の見直しを行うため、高齢層を中心に給料月額を引き下げ、若年層の給料月額は引き上げられた。

ただし、給料の切替えに伴う経過措置として、平成27年4月1日の給料切替日の前日から引き続き同一の給料表の適用を受ける職員で、その切替後の給料月額が、その前日に受けていた給料月額に達しないこととなる職員については、平成32年3月31日までの間、給料月額のほか、その差額に相当する額を給料として支給することとされた。

##### (2) 給料の調整額

###### ア 調整基本額（平成26年4月1日・平成27年4月1日適用）

給料表の改定に伴い、一部の調整基本額が改められた。

###### イ 調整数（平成27年1月1日適用）

義務教育費国庫負担金の算定基準見直しや他の都道府県の状況を考慮し、特別支援学校や特別支援学級担当教員に係る調整数が「1.25」から「1」に改められた。

##### (3) 昇格時号給対応表（平成26年4月1日・平成27年4月1日適用）

給料表の改定に伴い、昇格時号給対応表が改められた。

##### (4) 昇給（平成28年1月1日適用）

55歳を超える職員の昇給について、良好な勤務成績で勤務した職員であって人事委員会の定めるものにより行うこととされた。

##### (5) 55歳を超える特定職員の給料月額等の減額支給（平成27年4月1日適用）

減額期間が「当分の間」から「平成32年3月31日まで」

に改められた。

#### 2 通勤手当（平成27年4月1日適用）

全額支給限度額が 61,000 円から 63,000 円に改められ、自動車等交通用具使用者の手当額が次のとおり改められたこと。

片道の 自動車等の 使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動 機付きの交通用具
2 km以上 4 km未満	2,700 円	2,000 円
4 km以上 6 km未満	4,000 円	2,000 円
6 km以上 8 km未満	5,400 円	2,700 円
8 km以上 10 km未満	6,700 円	3,400 円
10 km以上 12 km未満	8,100 円	4,100 円
12 km以上 14 km未満	9,400 円	4,700 円
14 km以上 16 km未満	10,800 円	5,400 円
16 km以上 18 km未満	12,100 円	6,100 円
18 km以上 20 km未満	13,500 円	6,800 円
20 km以上 22 km未満	14,800 円	7,400 円
22 km以上 24 km未満	16,200 円	8,100 円
24 km以上 26 km未満	17,500 円	8,800 円
26 km以上 28 km未満	18,900 円	9,500 円
28 km以上 30 km未満	20,200 円	10,100 円
30 km以上 32 km未満	21,600 円	10,800 円
32 km以上 34 km未満	22,900 円	11,500 円
34 km以上 36 km未満	24,300 円	12,200 円
36 km以上 38 km未満	25,600 円	12,800 円
38 km以上 40 km未満	26,900 円	13,500 円
40 km以上 45 km未満	29,900 円	15,000 円
45 km以上 50 km未満	32,800 円	16,400 円
50 km以上 55 km未満	35,600 円	17,800 円
55 km以上 60 km未満	38,200 円	19,100 円
60 km以上 65 km未満	40,100 円	20,100 円
65 km以上 70 km未満	43,200 円	21,600 円
70 km以上 75 km未満	46,300 円	23,200 円
75 km以上 80 km未満	49,400 円	24,700 円
80 km以上	52,500 円	26,300 円

#### 3 単身赴任手当（平成27年4月1日適用）

基礎額が 23,000 円から 30,000 円に改められ、距離に応じた加算額の限度額が 45,000 円から 70,000 円に改められたこと。

なお、基礎額については、平成30年3月31日までの間においては、26,000 円となること。

#### 4 特殊勤務手当（平成27年1月1日適用）

教育特殊業務手当に係る手当額が次のとおり改められたこと。

1 学校の管理下において行う非常災害時等の緊急業務	
(1) 児童生徒の保護又は緊急防災・復旧業務	日額 8,000 円
(2) 被害が特に甚大な非常災害時の学校における救援業務	日額 16,000 円
(3) 児童生徒の救急業務	日額 7,500 円
(4) 児童生徒の緊急補導業務	日額 7,500 円
2 修学旅行等の児童生徒引率指導業務で泊るもの	日額 4,250 円
3 対外運動競技等の児童生徒引率指導業務で泊るもの又は週休日等に行うもの	日額 4,250 円
4 学校の管理下で行う部活動の児童生徒指導業務で週休日等又は4時間の勤務時間が割り振られた日に行うもの	
(1) 2時間以上4時間程度未満	日額 1,500 円
(2) 4時間程度	日額 3,000 円

#### 5 管理職員特別勤務手当（平成27年4月1日適用）

支給対象区分について、「管理職員が災害への対処その他の臨時又は緊急の必要により週休日等以外の日の午前0時から午前5時までの間に正規の勤務時間以外の時間に勤務した場合」が新たに追加され、勤務1回につき6,000円を超えない範囲内において手当が支給されること。

#### 6 期末・勤勉手当（平成26年12月1日適用）

支給割合が次のとおり改められたこと。

◎一般職員

	区分	6月期	12月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.225ヶ月	1.325ヶ月	2.55ヶ月	計
	勤勉手当	0.675ヶ月	0.675ヶ月	1.35ヶ月	3.90ヶ月
改正後 (26年度)	期末手当	1.225ヶ月	1.325ヶ月	2.55ヶ月	計
	勤勉手当	0.675ヶ月	0.825ヶ月	1.50ヶ月	4.05ヶ月
(27年度)	期末手当	1.225ヶ月	1.325ヶ月	2.55ヶ月	計
	勤勉手当	0.75ヶ月	0.75ヶ月	1.50ヶ月	4.05ヶ月

◎特定幹部職員

	区分	6月期	12月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.025ヶ月	1.125ヶ月	2.15ヶ月	計
	勤勉手当	0.875ヶ月	0.875ヶ月	1.75ヶ月	3.90ヶ月
改正後 (26年度)	期末手当	1.025ヶ月	1.125ヶ月	2.15ヶ月	計
	勤勉手当	0.875ヶ月	1.025ヶ月	1.90ヶ月	4.05ヶ月
(27年度)	期末手当	1.025ヶ月	1.125ヶ月	2.15ヶ月	計
	勤勉手当	0.95ヶ月	0.95ヶ月	1.90ヶ月	4.05ヶ月

#### 7 寒冷地手当（平成27年4月1日適用）

新たな気象データに基づき、支給地域及び支給公署が見直されたこと。

なお、支給地域等の見直しにより手当が支給されないこととなる職員については、平成30年3月31日までの間、経過措置が適用されること。

#### 8 再任用職員の住居手当及び単身赴任手当（平成27年4月1日適用）

再任用職員に対して、新たに住居手当及び単身赴任手当が支給されること。

### 第8節 附属機関等

#### 1 福島県学校教育審議会

根拠法令

福島県学校教育審議会条例（昭和41年福島県条例第42号）

目的

- ・ 教育委員会の諮問に応じ、学校教育の振興についての総合計画に関する事項及び学校教育についての基本的な重要施策に関する事項について調査審議する。
- ・ 学校教育に関する事項について、必要があると認めるときは、教育委員会に対し、意見を申し出る

#### (1) 審議・経過

東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により、県内の状況がまだ流動的であることから、県立高等学校の改革について依然として議論できる状況にないと判断し、平成23年度・24年度及び25年度に引き続き開催しなかった。

なお、委員は平成24年3月18日に前委員の任期が満了して以降、欠員となっている。

#### 2 福島県社会教育委員の会議

根拠法令

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条並びに福島県社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例（昭和24年福島県条例第56条）

目的

社会教育に関する諸計画を立案するとともに教育委員会の諮問に応じ、意見を述べたり必要な研究調査を行ったりし、社会教育に関して教育長を経て教育委員会に助言する。

(1) 福島県社会教育委員

任期 平成26年6月20日~平成28年6月19日

区分	氏名	役職名	備考
学校教育関係者	二谷京子	伊達市立桂沢小学校長	新任
	川島宏	会津若松市立第四中学校長	新任
	菅野論	福島県立相馬東高等学校長	新任
社会教育関係団体の関係者	加藤久尚	福島県公民館連絡協議会会長	副議長・新任
	津田智	福島県市町村社会教育委員連絡協議会副会長	新任
	渡辺直也	福島県連合青年会会長	
	山岸波	福島県PTA連合会副会長	新任
	小林清美	福島県婦人団体連合会副会長	
	新井田萬壽子	福島県子ども会育成会連合会会長	
	阿久津文作	福島県商工会連合会専務理事	
遠野馨	特別非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク	新任	
家庭教育関係者	星尚子	福島県家庭教育インストラクター連絡協議会理事	新任
学識関係者	五十嵐敦	福島大学総合教育研究センター教授	新任
	中田スウラ	福島大学人間発達文化学類教授	議長・新任
公募	佐藤房枝	会津坂下町八幡コミュニティセンター事務局長	
	佐藤晴美	主婦	

(2) 定例会の開催

ア 第1回定例会

- (ア) 日時 平成26年7月29日(火)
- (イ) 場所 県庁西庁舎9階 教育委員室
- (ウ) 内容

a 報告事項

平成26年度社会教育に関する主要施策・事業の概要について

b 審議事項

本県における社会教育推進のあり方について

イ 第2回定例会

- (ア) 日時 平成27年2月10日(火)
- (イ) 場所 県庁西庁舎9階 教育委員室
- (ウ) 内容

a 報告事項

平成26年度社会教育関係事業報告について  
平成27年度社会教育関係主要施策・事業(案)について

b 審議事項

福島県社会教育委員の会議提言内容の推進について

3 福島県文化財保護審議会

(1) 福島県文化財保護審議会委員

任期 平成25年4月1日~平成27年3月31日

氏名	所属等	担当分野	備考
阿部俊夫	郡山女子大学短期大学部講師	古文書、歴史資料	
泉武夫	東北大学大学院教授	絵画	
伊藤喜良	福島大学名誉教授・歴史学研究会・東北史学会	古文書(中世)・書跡・典籍	
永広昌之	東北大学総合博物館・東北大学名誉教授・日本地質学会・日本古生物学会	天然記念物(地質鉱物、古生物)	
岡田茂弘	国立歴史博物館名誉教授・日本考古学協会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	会長
懸田弘訓	会津大学非常勤講師・民俗芸能学会・福島県民俗学会・日本民俗音楽学会	有・無形民俗文化財	
狩野勝重	元日本大学教授・工学博士・日本建築学会	建造物・伝統的建造物群	
鈴木俊行	(公財)福島県都市公園・緑化協会・樹木医学会・日本桜学会	天然記念物(植物)	
竹原明秀	岩手大学教授・日本生態学会・植生学会・日本植物学会	天然記念物(植生)	
田辺真弓	郡山女子大学短期大学部教授・服装美学会・国際服飾学会	工芸品・染織	
辻秀人	東北学院大学教授・日本考古学協会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	

塘 忠 顕	福島大学准教授・日本動物学会・日本昆虫学会		
藤 井 英二郎	千葉大学大学院教授・日本庭園学会		
守 谷 早 苗	福島市史編纂室（嘱託員）	歴史資料	
若 林 繁	東京家政大学教授・美術史学会	彫刻	

## (2) 会議

### ア 第1回審議会

- (7) 期日 平成26年8月4日(月)  
 (4) 場所 福島県庁本庁舎3階 土木委員会室  
 (7) 内容  
 a 福島県指定文化財候補等の審議

### イ 第2回審議会

- (7) 期日 平成27年1月30日(金)  
 (4) 場所 福島県庁本庁舎3階 土木委員会室  
 (7) 内容  
 a 福島県指定文化財候補等の審議  
 b 新たな県指定文化財の候補について

## 第9節 市町村教育委員会

### 1 概要

本県の市町村教育委員会数は、平成26年5月1日現在、13市46町村1組合の計60である。

県教育委員会は、市町村教育委員会連絡協議会、都市教育長協議会、町村教育長協議会等との密接な連絡、連携のもとに、教育行政の適正な事務の執行と管理に努めている。

### 2 組織

平成26年5月1日現在、県内各市町村教育委員会の委員長及び教育長は次のとおりである。

教育委員会名	教育委員長	教 育 長
県北(8)		
福島市	芳賀 裕	本間 稔
伊達郡川俣町	佐藤 捷善	神田 紀
伊達市	高野 保夫	湯田 健一
伊達郡桑折町	柴田 宣広	安藤 重男
伊達郡国見町	高橋 幸子	岡崎 忠昭
二本松市	宮前 貢	小泉 裕明
安達郡大玉村	伊藤 忠和	佐藤 吉郎
本宮市	仲川 清	原瀬久美子
県中(12)		
郡山市	阿部 晃造	小野 義明
須賀川市	深谷 敬一	柳沼 直三
岩瀬郡鏡石町	塩田 重男	高原孝一郎
岩瀬郡天栄村	田代 佳子	増子 清一
石川郡石川町	近内 光慶	田口 和憲
石川郡玉川村	川崎 聖幸	富岡ケイ子
石川郡平田村	吉田 貞光	吾妻 幹廣
石川郡浅川町	岡田 初明	内田 賢壽
石川郡古殿町	水野 悦男	大樂 宣和
田村市	佐藤 善嗣	助川 弘道
田村郡三春町	武地 優子	遠藤 真弘

教育委員会名	教育委員長	教 育 長
田村郡小野町	大千里義市	西牧 裕司
県南(9)		
白河市	藤田 克彦	伊藤 涉
西白河郡西郷村	菊池千代子	加藤 征男
西白河郡中島村	水野谷剛夫	佐藤 正敏
西白河郡矢吹町	水戸 勘十	栗林 正樹
西白河郡泉崎村	山田 睦子	穂積 貞子
東白川郡棚倉町	藤田 光子	松本 市郎
東白川郡塙町	瀬谷 八洲	藤田 充
東白川郡矢祭町	片野 宗和	古張 金一
東白川郡鮫川村	水野 春雄	奥貫 洋
会津(13)		
会津若松市	大波 敏昭	星 憲隆
耶麻郡磐梯町	穴澤 孝子	齋藤 就治
耶麻郡猪苗代町	岩橋 紀男	土屋 重憲
喜多方市	吉田 滋喜	芳賀 忠夫
耶麻郡北塩原村	阿部 好喜	佐藤 信寛
耶麻郡西会津町	田崎 敬修	新井田 大
河沼郡会津坂下町	長谷川一成	佐藤 玄
河沼郡湯川村	風間いく子	星 三千男
河沼郡柳津町	伊藤 喜一	目黒健一郎
大沼郡会津美里町	林 靖子	佐治 和則
大沼郡三島町	阿部 和彦	矢澤 源成
大沼郡金山町	長谷川恵一	目黒 則雄
大沼郡昭和村	本名 敬	本名 幸平
南会津(5)		
南会津郡南会津町	渡部 謙一	五十嵐竹則
南会津郡下郷町	白石 光史	大竹 康隆
南会津郡檜枝岐村	星 賢二	平野 信之
南会津郡只見町	角田 行雄	齋藤 修一
南会津地方広域市町村圏組合	大竹 康隆	五十嵐竹則
相双(12)		
相馬郡新地町	加藤 潤一	佐々木孝司
相馬市	太田 孝泰	堀川 利夫

教育委員会名	教育委員長	教 育 長
南相馬市	大石 力彌	青木 紀男
相馬郡飯館村	佐藤 眞弘	八巻 義徳
双葉郡浪江町	鈴木 大介	畠山熙一郎
双葉郡葛尾村	東海林幸敏	猪狩 省造
双葉郡双葉町	岡村 隆夫	半谷 淳
双葉郡大熊町	嶋貫 光喜	武内 敏英
双葉郡富岡町	関本 征司	石井 賢一
双葉郡川内村	西山 光熙	秋元 正
双葉郡楢葉町	渡邊 司	矢内賢太郎
双葉郡広野町	根本 修行	浅野 一
いわき(1)		
いわき市	馬目 順一	吉田 尚

### 3 平成26年度市町村教育委員会援助指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会教育長会議、新任教育委員研修会を開催して助言指導を行うとともに、教育行政関係の諸資料等を配布して県内市町村教育委員会への援助に努めた。

#### (1) 平成26年度福島県市町村教育委員会教育長会議

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日 平成26年4月14日(月)
- ウ 会場 本庁舎5階 正庁
- エ 出席者 市町村教育委員会教育長 59名
- オ 内容  
平成26年度教育庁各課(室)・所の重点施策の説明

#### (2) 平成26年度福島県市町村教育委員会新任教育委員研修会

- ア 主催  
福島県市町村教育委員会連絡協議会  
福島県教育委員会
- イ 期日  
平成26年11月19日(水)
- ウ 会場  
本庁舎5階 正庁
- エ 参加者  
平成25年11月21日から平成26年9月30日の間に任命された委員及び、それ以前に就任し未参加の委員 34名
- オ 内容
  - 講話
    - ・演題 「教育委員に期待するもの」
    - ・講師 福島県教育委員会教育長 杉 昭重
  - 講話
    - ・演題 「教育委員会の運営は、いかにあるべきか」
    - ・講師 福島市教育委員会教育委員長 芳賀 裕
  - 講義
    - ・演題 「教育委員会の組織と運営について」
    - ・講師 福島県教育庁職員課管理主事 穂積 浩

平成26年度における「福島県教職員組合」「福島県高等学校教職員組合」「福島県立高等学校教職員組合」「福島県学校事務労働組合」との話合いのうち、主なものは次のとおりである。

### 1 福島県教職員組合

(1) 平成26年4月24日

- ア 給与について
- イ 新たな人事評価制度について
- ウ 臨時的任用教職員の待遇及び勤務条件の改善について
- エ 児童・生徒の安全・安心を確保した教育について
- オ 震災に係る復興加配について
- カ 多忙化解消、労働安全衛生体制の確立について
- キ 教職員のメンタルヘルスケア対策について
- ク セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメントの根絶について
- ケ 放射線対策について
- コ 特別支援教育の充実について

(2) 平成26年11月10日

- ア 給与制度の総合的見直しについて
- イ 臨時的任用教職員の処遇改善について
- ウ 多忙化解消について
- エ 再任用制度について

(3) 平成26年11月19日

- ア 給料の調整額について
- イ 人事評価制度について
- ウ 臨時的任用教職員の処遇改善について
- エ 不妊治療について
- オ 多忙化解消について
- カ 新教育委員会制度について

(4) 平成27年1月23日

- ア 給与改定について

### 2 福島県高等学校教職員組合

(1) 平成26年4月25日

- ア 耐震改修工事について
- イ スクールカウンセラーについて
- ウ サテライト校について
- エ 学校の統廃合及び学級数について
- オ 特別支援学校の教育環境整備について
- カ 教員の加配措置について
- キ 給与、諸手当について
- ク 高齢期雇用について
- ケ 臨時的任用職員の処遇改善について
- コ 免許更新制について
- サ 目標管理制度について
- シ 子育て休暇について
- ス パソコンの更新について
- セ 教職員のメンタルヘルス対策について

(2) 平成26年11月11日

- ア 給与制度の総合的見直しについて
- イ 各種手当について
- ウ 採用について
- エ 学校のICT環境について
- オ 学校施設の除染について
- カ ふたば未来学園高等学校等の加配について

(3) 平成26年11月20日

## 第10節 職員団体との話合い

- ア 給料の調整額について
- イ 義務教育等教員特別手当について
- ウ 産業教育手当、定時制通信教育手当について
- エ スクールカウンセラー配置について
- オ 学校の統廃合について
- カ 特別支援学校の教育環境整備について
- キ 高齢期雇用について
- ク 旅費の改善について
- ケ 臨時的任用職員の処遇改善について
- コ 多忙化解消について
- サ 教員免許状更新について
- シ 新人事評価制度について
- ス 仕事と子育て・介護の両立推進について

(4)平成27年1月23日

- ア 給与改定について

### 3 福島県立高等学校教職員組合

(1)平成26年4月25日

- ア 賃金諸手当の改善について
- イ 長時間過密労働の解消について
- ウ 休日、休暇制度の拡充について
- エ 教育環境等の整備について
- オ パワーハラスメントの指針について

(2)平成26年11月12日

- ア 給与について
- イ 給料の調整額について
- ウ 養護教諭の正規採用について
- エ 高齢期雇用について
- オ 長時間過密労働について
- カ 放射性物質の飛散対策について

(3)平成26年11月20日

- ア 給料の調整額や手当について
- イ 退職手当について
- ウ 人事評価制度について
- エ 多忙化解消について
- オ 学校司書の研修について

(4)平成27年1月23日

- ア 給与改定について

### 4 福島県学校事務労働組合

(1)平成26年4月24日

- ア 給与について
- イ 新人事評価制度について
- ウ 再任用制度について
- エ 就学援助に係る震災加配について
- オ 学校事務の共同実施について
- カ 主任主査昇任について
- キ 採用について
- ク 臨時的任用職員の任用について
- ケ 労働安全衛生規定等について

(2)平成26年11月10日

- ア 給与について
- イ 主任主査昇任について
- ウ 55歳昇給停止について
- エ 永年勤続昇給加算について
- オ 人事評価制度について
- カ 学校事務職員の複数配置について
- キ 再任用短時間勤務について
- ク 学校事務の共同・連携実施について
- ケ 臨時的任用職員の任用について
- コ 旅費について

(3)平成26年11月19日

- ア 給与について
- イ 主任主査承認の拡大について
- ウ 学校事務職員複数配置について
- エ 学校事務共同連携実施について
- オ 再任用について
- カ 旅費の配分について
- キ 臨時的任用職員の処遇改善について

(4)平成27年1月23日

- ア 給与改定について

## 第11節 不利益処分審査請求事件及び損害賠償請求事件

### 1 不利益処分審査請求事件

平成27年3月31日現在、県人事委員会に不利益処分審査請求事件として係属中のものは2件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
懲戒処分取消請求事件	平26. 6. 10	平26. 4. 18付懲戒処分についてその取消を請求	公立小学校教員	平27. 3. 27 処分取消
懲戒処分取消請求事件	平26. 12. 15	平26. 10. 17付懲戒処分についてその取消を請求	公立小学校教員	係属中



## 2 損害賠償等請求事件

平成27年3月31日現在、裁判所損害賠償等請求等事件として係属中のものは2件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
懲戒処分取消等請求事件	平26. 4. 4	平24. 6. 15付懲戒処分等についてその取消を請求	公立高等学校 教員	係属中
安全な場所で教育を受ける権利の確認等請求事件	平26. 8. 29 平27. 1. 14	安全な場所で教育を受けることができる権利の確認等	県内住民 多数	係属中

## 第12節 公益法人等の指導等並びに公益信託の状況

### 1 公益法人等

平成27年3月31日現在、県教育委員会の所管に属する公益法人等は54法人である。

各法人から事業報告書・収支決算書、事業計画書、終始予算書等の提出を求めた。

法人ごとの内訳は下表のとおり。

法人種別	所管する法人数	平成26年度に公益法人又は一般法人に移行した法人数
公益財団法人	23	3
公益社団法人	1	0
一般財団法人	22	13
一般社団法人	2	1
特例民法法人	6	—
解散した法人	9	—
計	63	17

### 2 公益信託

平成27年3月31日現在、県教育委員会の所管に属する公益信託は3件である。

なお、平成26年度に引き受けを許可した公益信託はない。

## 第13節 表彰及び叙勲

平成26年度教育・文化関係表彰式は11月4日(火)福島県文化センター、平成27年2月6日(金)杉妻会館において、それぞれ厳粛のうちにも盛大に行われた。

また、文部科学大臣による地方教育行政功労者表彰式は10月21日(火)、また、教育者表彰式は11月28日(金)、文部科学省講堂において、それぞれ行われた。

### 1 教育・文化関係表彰

#### (1) 地方教育行政功労者(6名)

(前) 福島市教育委員会教育長	佐藤俊市郎
(前) 国見町教育委員会教育委員	高橋 一吉
(前) 郡山市教育委員会教育長	木村 孝雄
(前) 天栄村教育委員会教育委員長	高野 卓樹
(前) 昭和村教育委員会教育委員	羽染としの

(前) 広野町教育委員会教育長 芦川 鋭章

#### (2) 学校教育功労者(15名)

桑折町立醸芳小学校長	会田 智康
福島市立福島第四中学校長	君島 勇吉
福島市立清水中学校長	雉子波敏司
郡山市立郡山第一中学校長	滝田 文夫
郡山市立郡山第三中学校長	佐藤 秀治
須賀川市立第一中学校長	渡部 修一
会津若松市立謹教小学校長	本田 樹
喜多方市立第二小学校長	関本 良
会津若松市立第四中学校長	川島 宏
南相馬市立原町第一小学校長	大和田博行
いわき市立平第一中学校長	小澤 章雄
福島県立橘高等学校長	小瀨宗一郎
福島県立郡山東高等学校長	齋藤 貢一
福島県立会津高等学校長	箱崎二三彦
福島県立あぶくま養護学校長	渡邊 恵一

#### (3) 社会教育関係

##### ア 社会教育功労者(2名)

(前) 郡山市社会教育委員の会議 議長	國馬 善郎
南相馬市生涯学習推進委員長	大場 盛子

##### イ 功績顕著な団体・施設(3団体・4施設)

###### 〈社会教育団体〉

田村市立芦沢小学校 PTA
南郷ジュニアレーシングスポーツ少年団
新地町立新地小学校父母と教師の会

###### 〈社会教育施設〉

福島市杉妻学習センター
郡山市立桃見台地域公民館
郡山市立柴宮地域公民館
会津若松市立会津図書館

#### (4) 文化財保護関係

##### ア 文化財保護功労者(2名)

(元) 福島県文化財保護審議会委員	藤田 定興
(前) 塙町文化財保護審議会会長	藤田 佳男

#### (5) 学校体育・学校保健関係

##### ア 学校保健功労者(4名)

二本松市立安達太良小学校 学校医	鈴木 孝雄
------------------	-------

いわき市立平第五小学校 学校医 山崎 正義  
 いわき市立平第五小学校 学校歯科医 平井 清武  
 福島県立猪苗代養護学校 学校薬剤師 壽田 正夫

(6) へき地教育関係

ア へき地教育功労者(2名)

南会津町立田島第二小学校長 佐藤 淳一  
 南会津町立南会津中学校長 渡部 正弘

イ 功績顕著な団体(1団体)

北塩原村立裏磐梯小学校

(7) 特別支援教育関係

ア 特別支援教育功労者(2名)

福島市立福島養護学校長 山崎 壽克  
 福島県立須賀川養護学校長 菊地恵美子

(8) 永年勤続関係

	小学校	中学校	県立学校	教育庁	計
校長	35	27	4		66
教頭	39	19	11		69
教員	177	130	119		426
教員以外	19	9	5	15	48
計	270	185	139	15	609

(9) 特別功績者

ア 児童・生徒(団体)の部(10団体)

- 郡山市立金透小学校特設音楽部
- 郡山市立郡山第五中学校合唱部
- 猪苗代町立猪苗代中学校女子バドミントン部  
(富岡町立富岡第一中学校女子バドミントン部)
- いわき市立勿来第一中学校報道委員会
- 福島県立福島高等学校スーパーサイエンス部
- 福島県立郡山北工業高等学校コンピュータ部
- 福島県立郡山商業高等学校珠算部
- 福島県立会津高等学校合唱部
- 福島県立磐城高等学校放送委員会
- 福島県立富岡高等学校バドミントン部

イ 優秀教職員の部(27名)

福島市立福島第三小学校 教 諭 小針 順子  
 桑折町立釧芳小学校 教 諭 鎌田 範子  
 郡山市立根木屋小学校 教 諭 須田 英明  
 須賀川市立白方小学校 養護教諭 大友 美保  
 石川町立石川小学校 教 諭 高宮 秀徳  
 白河市立釜子小学校 教 諭 仁科 篤弘  
 西郷村立羽太小学校 養護教諭 高田 智子  
 会津若松市立大戸小学校 教 諭 安藤 裕明  
 檜枝岐村立檜枝岐小学校 教 諭 山内奈美子  
 相馬市立桜丘小学校 教 諭 安田 幸  
 いわき市立平第五小学校 教 諭 北原 由江  
 福島市立信夫中学校 教 諭 遠藤 博晃  
 郡山市立郡山第三中学校 養護教諭 木幡 淳子  
 須賀川市立第三中学校 教 諭 村越 洋之  
 須賀川市立西袋中学校 教 諭 安田 京子  
 喜多方市立山都中学校 教 諭 中島誠太郎

猪苗代町立東中学校 教 諭 渡部真喜子  
 只見町立只見中学校 教 諭 五十嵐清人  
 相馬市立磯部中学校 教 諭 堀川 智秋  
 福島県立福島高等学校 教 諭 浜田 伸一  
 福島県立保原高等学校 教 諭 番匠あつみ  
 福島県立喜多方東高等学校 教 諭 木野美智子  
 福島県立平商業高等学校 教 諭 佐川 知子  
 福島県立富岡高等学校 教 諭 大堀 均  
 福島県立郡山養護学校 教 諭 石田 一己  
 福島県須賀川養護学校 教 諭 丹野 好恵  
 福島県立平養護学校 教 諭 鈴木 明仁

2 文部科学大臣表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰(6名)

福島県教育委員会教育委員 境野 米子  
 中島村教育委員会教育委員長 水野谷剛夫  
 (前)伊達市教育委員会教育委員 阿部徳一郎  
 (前)国見町教育委員会教育委員長 遊佐真紀子  
 檜枝岐村教育委員会教育委員 星 孝道  
 (前)新地町教育委員会教育長 村山 正之

(2) 教育者表彰(3名)

福島県伊達郡桑折町立釧芳小学校長 会田 智康  
 福島県郡山市立郡山第一中学校長 滝田 文夫  
 福島県立会津高等学校長 箱崎二三彦

3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲

(1) 平成26年春の叙勲

ア 瑞宝小綬章

大友 練一(教育功労 元福島県立磐城高等学校長)  
 柴山 進(教育功労 元福島県立白河高等学校長)  
 堀 幸一郎(教育功労 元福島県立会津高等学校長)  
 菅野 暁(教育功労 元福島県立安積黎明高等学校長)

イ 瑞宝双光章

高原 榮征(教育功労 元石川町立石川中学校長)  
 富山 英正(教育功労 元郡山市立金透小学校長)  
 箭内 政勝(教育功労 元郡山市立郡山第二中学校長)  
 萩原 照夫(教育功労 元棚倉町立棚倉小学校長)

(2) 平成26年秋の叙勲

ア 瑞宝小綬章

村山 正之(教育功労 元福島県立磐城高等学校長)  
 片平 俊夫(教育功労 元福島県立保原高等学校長)

イ 瑞宝双光章

江尻 邦夫(教育功労 元原町市立原町第一中学校長)  
 峯島 和彦(教育功労 元福島市立福島第三中学校長)  
 新井田明義(教育功労 元会津坂下町立第一中学校長)  
 齋藤 邦光(教育功労 元白河市立白河中央中学校長)  
 根本 清夫(教育功労 元郡山市立郡山第一中学校長)  
 藤田 克孝(教育功労 元郡山市立橘小学校長)

(3) 高齢者叙勲(平成26年4月1日～平成27年3月1日発令)

ア 瑞宝小綬章(教育功労)

菊池 力衛(元福島県立喜多方高等学校長)

田山 末男(元福島県立湯本高等学校長)	正六位瑞宝双光章	松井 泰 栄 (元郡山市立谷田川小学校長)
鈴木 民郎(元福島県立小名浜高等学校長)		
富永 三郎(元福島県立小名浜水産高等学校長)	従六位	遠藤 徹 郎 (元棚倉町立棚倉小学校長)
丹治 元安(元福島県立会津工業高等学校長)		
イ 瑞宝双光章(教育功勞)	正六位瑞宝双光章	小泉 幸 雄 (元福島市立立子山小学校長)
吉田 行雄(元会津若松市立城北小学校長)		
久保田義男(元いわき市立白水小学校長)	正六位瑞宝双光章	佐藤 雄 喜 (元泉崎村立泉崎中学校長)
遠藤 松義(元新地町立尚英中学校長)		
五十嵐 巖(元山都町立山都第一小学校長)	従六位	高橋 忠 男 (元原町市立石神第一小学校長)
古宇田常雄(元いわき市立赤井小学校長)		
天野 三雄(元三春町立岩江小学校長)	正六位瑞宝双光章	橋本 照 (元猪苗代町立猪苗代小学校長)
寺島 八郎(元福島市立大島中学校長)		
松本 春帆(元白河市立白河第二中学校長)	従五位瑞宝双光章	藤田 寅 雄 (元塙町立塙小学校長)
大和金三郎(元国見町立森江野小学校長)		
川上 良男(元猪苗代町立猪苗代中学校長)	正六位瑞宝双光章	渡邊 高 嘉 (元郡山市立大槻小学校長)
有我次三郎(元須賀川市立小塩江小学校長)		
佐藤 孝二(元会津坂下町立会津坂下小学校長)	正六位瑞宝双光章	葛岡 藤 馬 (元二本松市立鈴石小学校長)
善方 一夫(元須賀川市立第三中学校長)		
宗形 虎男(元郡山市立赤木小学校長)	従五位	郡司 梧 郎 (元福島県立郡山女子高等学校長)
石井 弘喜(元大越町立上大越小学校長)		
大橋 睦也(元梁川町立梁川中学校長)	正六位	太田 澄 信 (元矢吹町立三神小学校長)
大越 清(元郡山市立大槻中学校長)		
松本 武夫(元白河市立五箇小学校長)	正六位瑞宝双光章	遠藤 良 三 (元船引町立芦沢小学校長)
末永 正夫(元安達町立渋川小学校長)		
渡邊 仁也(元いわき市立好間第一小学校長)	正六位瑞宝双光章	松本 英 夫 (元福島市立中野小学校長)
村田 達夫(元福島県立富岡養護学校長)		
長谷川三雄(元いわき市立御厩小学校長)	従五位瑞宝小綬章	大原 一 邦 (元福島県立小高商業高等学校長)
小針 孝定(元玉川村立泉中学校長)		
円谷 恒衛(元郡山市立芳賀小学校長)	正六位瑞宝双光章	竹野 武 美 (元喜多方市立関柴小学校長)
棚木 貢(元会津坂下町立第一中学校長)		
大杉 光夫(元保原町立上保原小学校長)	従五位	一ノ瀬 秀 夫 (元会津若松市立一箕小学校長)
星 清(元会津高田町立赤沢小学校長)		
松村 重信(元郡山市立郡山第七中学校長)	従五位	渡部 幸 江 (元猪苗代町立猪苗代小学校長)
橋本 生司(元郡山市立大島小学校長)		
田子 良顯(元須賀川市立柏城小学校長)	正六位	大内 巖 (元二本松市立平石小学校長)
平野 増雄(元会津坂下町立八幡小学校長)		
羽田 義光(元福島市立岳陽中学校長)	従五位	伊藤 森 三 (元福島県立会津高等学校長)
齋藤 忠(元小野町立小野新町小学校長)		
石井 辰美(元須賀川市立稲田中学校長)	正六位瑞宝双光章	佐藤 寛 治 (元会津坂下町立片門小学校長)
大内 昭市(元二本松市杉田小学校長)		
行方多利十(元須賀川市立西袋中学校長)	従五位	児島 常 夫 (元会津高田町立高田小学校長)
内田 利男(元浅川町立浅川中学校長)		
<b>(4) 死亡叙位・叙勲</b>	正七位瑞宝单光章	梅官 守 夫 (元只見町立只見中学校長)
《平成26年度》		
従五位	佐藤 光 (元福島県立長沼高等学校長)	沼澤 東 吾 (元西会津町立西会津中学校長)
従六位	須田 操 (元新地町立駒ヶ嶺小学校長)	大谷 彰 (元相馬市立中村第一中学校長)
正六位瑞宝双光章	伊藤 光 義 (元郡山市立桃見台小学校長)	松岡 隆 (元福島市立野田中学校長)

従五位	大橋 睦也 (元梁川町立梁川中学校長)	正六位	加藤 孝雄 (元会津若松市立第三中学校)
正六位	堀切 光孝 (元国見町立森江野小学校長)	正六位	山田 良 (元いわき市立平第一小学校長)
正六位	金子 徳太郎 (元喜多方市立松山小学校長)	正六位瑞宝双光章	吉田 新介 (元会津若松市立永和小学校長)
正六位	與田 薫 (元いわき市立好間第三小学校長)	従五位瑞宝小綬章	井上 光貞 (元福島県立保原高等学校長)
正六位	天野 三雄 (元三春町立岩江小学校長)	正六位瑞宝双光章	宍戸 昭雄 (元いわき市立藤間中学校)
正六位	橋本 弘 (元三春町立三春小学校長)	正六位瑞宝双光章	佐藤 隆雄 (元福島市立庭塚小学校)
正七位	長谷川 恭敬 (元いわき市立勿来第二小学校長)	従六位瑞宝双光章	添田 初美 (元須賀川市立第一中学校長)
正六位	齋藤 七郎 (元三春町立三春中学校長)	従五位	三瓶 常四郎 (元白河市立白河農工高等学校長)
正六位瑞宝双光章	久米 光勇 (元梁川町立粟野小学校長)	正六位瑞宝双光章	市川 敏夫 (元安達町立油井小学校長)
正六位瑞宝双光章	西牧 宏樹 (元矢祭町立東館小学校長)	正六位	園部 正一 (元福島県立磐城農業高等学校長)
従六位	橋本 善之 (元須賀川市立第一小学校長)	従五位瑞宝小綬章	山内 恭 (元福島県立富岡高等学校長)
従五位	新妻 繁雄 (元川内村立川内中学校長)	正六位瑞宝双光章	谷津田 尊明 (元楮葉町立楮葉中学校長)
従六位	高橋 道保 (元須賀川市立第二中学校長)	正六位瑞宝双光章	安部 隆治 (元福島市立土湯小学校長)
正六位瑞宝双光章	石井 昭 (元福島市立蓬萊中学校長)	正六位	志賀 傳一 (元いわき市立錦中学校長)
正六位瑞宝双光章	佐藤 保正 (元岩代町立百目木小学校長)	従六位瑞宝双光章	菊地 好正 (元会津若松市第五中学校長)
従六位瑞宝双光章	野口 松男 (元滝根町立広瀬小学校長)	正六位瑞宝双光章	日下 俊雄 (元新地町立尚英中学校長)
正六位瑞宝双光章	鈴木 薫晴 (元いわき市立四倉中学校長)	正六位	猪狩 福秀 (元いわき市立小名浜第二中学校長)
正六位	鈴木 忠夫 (元白河市立白河第二中学校長)	従五位	浅賀 一 (元矢祭町立矢祭中学校長)
正六位瑞宝双光章	浅野 俊彦 (元喜多方市第一小学校長)	従五位	矢部 元良 (元塙町立塙中学校長)
正六位瑞宝双光章	横内 直典 (元福島市立渡利中学校長)	正六位	齋藤 忠 (元小野町立小野新町小学校長)
正六位瑞宝双光章	岩澤 豊 (元湯川村立笈川小学校長)	従六位	橋本 生司 (元郡山市立大島小学校長)
従六位	遠藤 裕 (元浪江町立浪江小学校長)	従五位	田崎 弘毅 (元河東町立河東中学校長)
従六位瑞宝双光章	佐藤 佐太郎 (元いわき市立玉川中学校長)	従五位	荒川 義彌 (元浅川町立浅川小学校長)
従六位瑞宝双光章	山倉 行雄 (元福島市立湯野小学校)	正六位瑞宝双光章	武花 重芳 (元南相馬市立高平小学校長)
正六位瑞宝双光章	國分 弘基 (元東和町立東和中学校長)	正六位	横山 武 (元会津高田町立第二中学校長)

正六位瑞宝双光章	太田友也 (元福島市立岡山小学校長)
正六位	遠藤正文 (元いわき市立永崎小学校長)
正六位瑞宝双光章	中目公男 (元郡山市立郡山第六中学校長)
従六位瑞宝双光章	阿部重信 (元福島市立清水中学校長)
正六位瑞宝双光章	星貞夫 (元郡山市立高瀬小学校長)
従六位	平野増雄 (元会津坂下町立八幡小学校長)
従六位瑞宝双光章	水口雄祐 (元須賀川市立第一小学校長)
従五位	若杉栄 (元福島県立福島女子高等学校長)
従五位	鈴木民郎 (元福島県立小名浜高等学校長)
正六位	松本宗雄 (元原町市立石神第一小学校長)
正六位瑞宝双光章	鈴木哲也 (元北会津村立川南小学校長)
正六位	石井重衛 (元福島県立白河女子高等学校長)
正六位	佐藤佐 (元西会津町立群岡中学校長)

平成26年9月19日

ウ 貸与状況

区 分	継続 貸与	新規貸与		計
		応募者	貸与者	
高等学校 (うち震災特例)	729人 (454人)	379人 (207人)	374人 (203人)	1,103人 (657人)
大 学 高等専門学校	170人	189人	137人	307人
大学等 入学一時金		95人	81人	81人
計	899人	663人	592人	1,491人

2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程  
修学資金貸与制度

(1) 貸与月額

定時制課程	
1～4学年	14,000円
通信制課程	
1～4学年	14,000円

(2) 平成26年度の貸与状況

学 年 別	定時制	通信制	計
1 年 生	0人	0人	0人
2 年 生	2人	0人	2人
3 年 生	1人	0人	1人
4 年 生	1人	0人	1人
計	4人	0人	4人

第14節 奨学育英

1 福島県奨学資金

(1) 貸与金額

区 分	貸与月額	
高等学校	国公立	自宅 18,000円
		自宅外 23,000円
	私立	自宅 30,000円
		自宅外 35,000円
高等専門学校	18,000円	
大 学	国公立	35,000円
	私立	40,000円
入学一時金 (H25～)	(一括貸与) 500,000円	

(2) 平成26年度の貸与状況

ア 募集期間

(7) 在学採用

平成26年4月入学以降～6月30日

(4) 震災特例採用

平成26年5月1日～7月31日

イ 奨学生決定

(7) 在学採用

平成26年8月1日

(4) 震災特例採用

